

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業部門の拡大ペース急減速 (05年9月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：05年9月15日 (木)

～ハリケーンの影響が加わったものの前月の急上昇の反動による一時的な停滞の可能性～ (No. UI-106)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
04/09	15.9	26.8	25.4	2.7	22.9	2.9	2.8	34.6	56.7	▲ 22.1	43.6
04/10	27.2	23.5	26.5	2.4	15.0	0.3	▲ 2.2	33.2	57.2	▲ 24.0	27.8
04/11	19.7	20.8	21.4	▲ 4.2	15.4	▲ 2.9	▲ 1.8	30.3	55.4	▲ 25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	▲ 4.5	14.0	▲ 1.1	3.0	21.1	53.8	▲ 32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	▲ 2.7	17.0	▲ 3.2	▲ 5.2	24.7	66.1	▲ 41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	▲ 7.4	12.3	7.1	▲ 2.8	24.6	43.5	▲ 18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	▲ 5.3	10.1	3.5	▲ 2.1	15.3	29.7	▲ 14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	▲ 3.8	28.0	50.5	▲ 22.5	27.5
05/05	7.3	15.0	14.9	2.0	5.4	0.5	▲ 0.1	15.7	30.9	▲ 15.2	22.3
05/06	▲ 2.2	2.5	6.6	▲ 0.4	7.1	▲ 13.2	▲ 19.0	8.1	23.5	▲ 15.4	30.6
05/07	9.6	5.0	12.4	▲ 10.9	3.4	▲ 1.9	▲ 9.2	12.0	26.5	▲ 14.5	15.3
05/08	17.5	19.8	17.8	▲ 7.3	6.3	0.9	7.2	3.0	25.9	▲ 22.9	33.4
05/09	2.2	▲ 0.5	13.2	1.4	2.7	▲ 2.4	▲ 1.3	8.6	52.7	▲ 44.1	7.0

(出所) フィラデルフィア連銀

2.2と前月から15.3 ポイント低下

05年9月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+2.2と市場予想の+13.0を大幅に下回った。拡大縮小の分岐点であるゼロは上回っているが、前月から15.3ポイント低下した。さらに、半年後の景況感を示す指数も大幅に低下していることから、9月入り後の同地区製造業部門の業況はかなり停滞した。

もっとも、9月の景況指数はハリケーン「カトリーナ」の影響を受けたと考えられるものの、新規受注指数、総合指数はともに8月にプラス幅が大幅に拡大したこと、エネルギー価格上昇の生産、新規受注に対する影響が大きいと企業が判断していることから、一時的な減速と考えられる。また、この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要があるが、同ベースでの総合指数では、同地区製造業部門が緩やかに加速していることが示されている（2Pグラフ参照）。

目先生産の鈍化を 示唆

個別にみると、新規受注、受注残がマイナスに転じ、在庫指数がプラスに転じたことから、目先同地区の生産鈍化が見込まれる。インフレ面では、仕入れ価格が大幅に上昇したように川上でのインフレ圧力が強まっている一方、販売価格が小幅なプラス幅拡大にとどまっているように価格転嫁ができないため川下での物価安定に繋がっている。この結果、交易条件は前月から大幅に悪化しており、企業の収益性は低下している。このような中、労働時間は+1.2と前月とほぼ変わらずとなったものの、雇用指数が+2.7と小幅低下したことから、当面同地区製造業での雇用は抑制される可能性が高いことが示唆されている。

現状に先行する半年後の景況感に対する楽観的な見方が弱まった

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+7.0と8月の+33.4から大幅に低下しており、経営者の楽観的な見方が弱まった。

半年後の収益環境では、仕入れ価格の大幅な上昇を見込んでいるものの、販売価格のプラス幅が小幅上昇にとどまるとみており、交易条件の悪化を予想している。このような見通しのもと、半年後の労働時間がマイナスに転じ、さらに雇用も+11.4(8月+12.6)とプラス幅が縮小していることから、今後雇用の増加を期待できない。一方で、在庫のマイナスが続くなど引き続き在庫の削減を予想している。以上のように、供給懸念に伴う投入コストの上昇圧力が強い状況が想定されており、今後も企業はコスト削減を積極的に進めるとみられる。

半年後の設備投資見通しは、+12.9と8月の+17.6から小幅低下にとどまっていることから、同地区製造業での設備投資の拡大持続が示唆された。

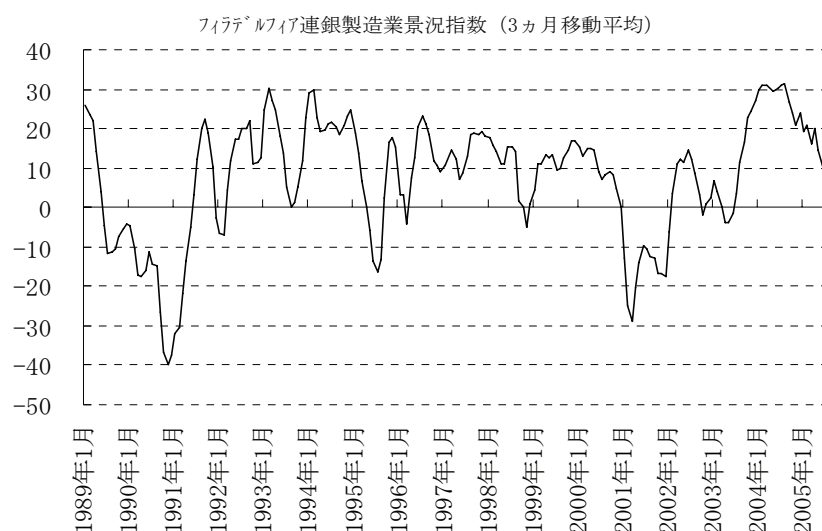
先行きに関しては、在庫の削減が続く一方、受注・出荷のプラス幅縮小、交易条件の悪化、労働時間の削減が見込まれており、先行きに対する楽観的な見方が弱まっている。

企業は最近のエネルギー価格上昇の影響は小さいと判断

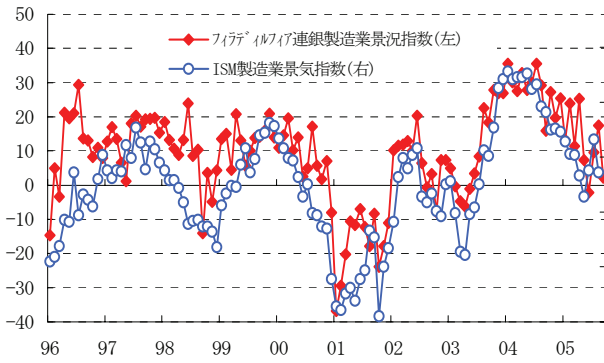
今回特別調査として、最近のエネルギー価格の高止まりの新規受注、生産、今後6カ月の生産計画への影響調査を行った。それによると、新規受注へのマイナスの影響があると答えた割合は85.9%、プラスの影響があると回答が14.1%となった。同様に生産はそれぞれ92.0%、8.0%、今後6カ月の生産計画は90.5%、9.5%となった。ただし、マイナスのなかでも深刻な影響があると回答したのは新規受注で全体の6.2%、生産で11.3%、今後6カ月の生産計画で17.5%とそれほど比率が高くない。大部分が僅かな影響との回答をしていることから、企業はエネルギー価格上昇の影響を受けるものの限定的と判断している。

ISM製造業景気指数は前月から小幅低下の可能性

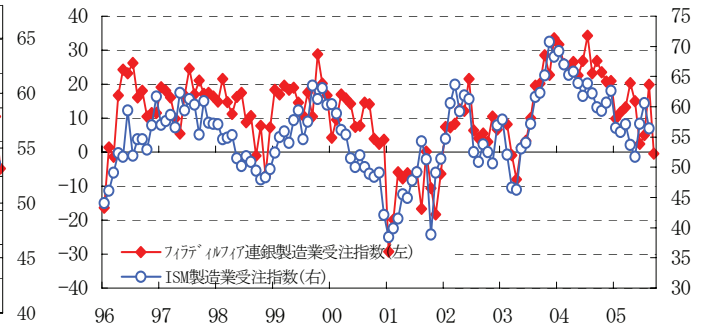
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。9月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)が小幅低下にとどまった一方、フィラデルフィア連銀製造業景況指数が大幅に低下したことから、9月のISM製造業景気指数は8月の53.6から52.5程度への低下が見込まれる。



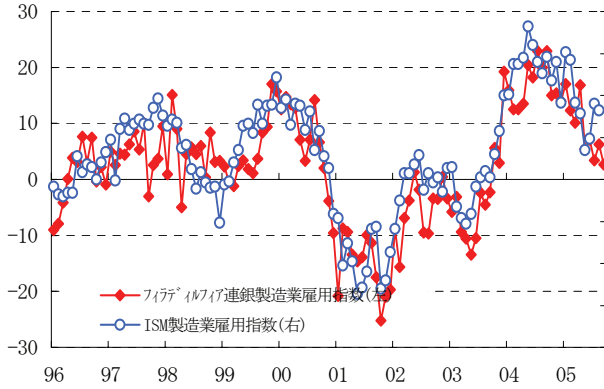
フィデ[®]インワイ[®]連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



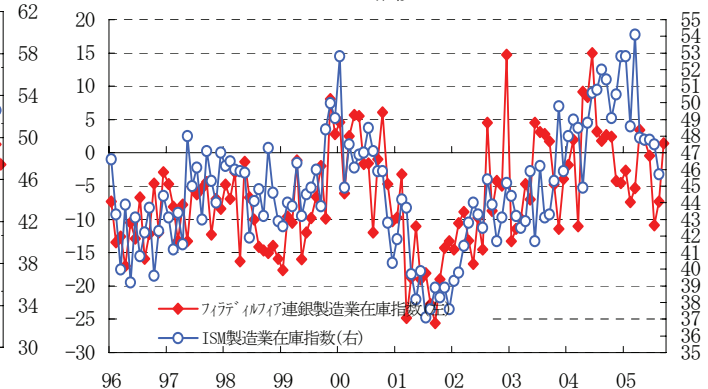
フィデ[®]インワイ[®]連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



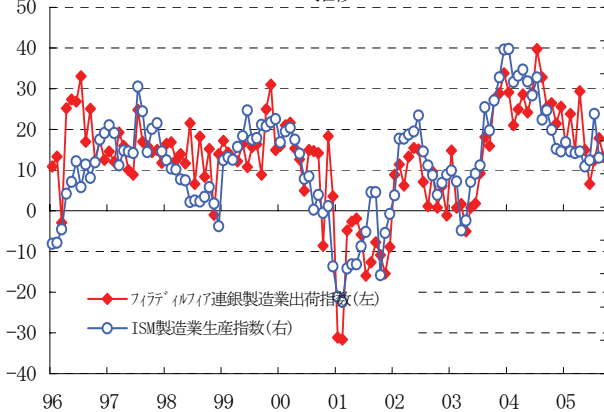
フィデ[®]インワイ[®]連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



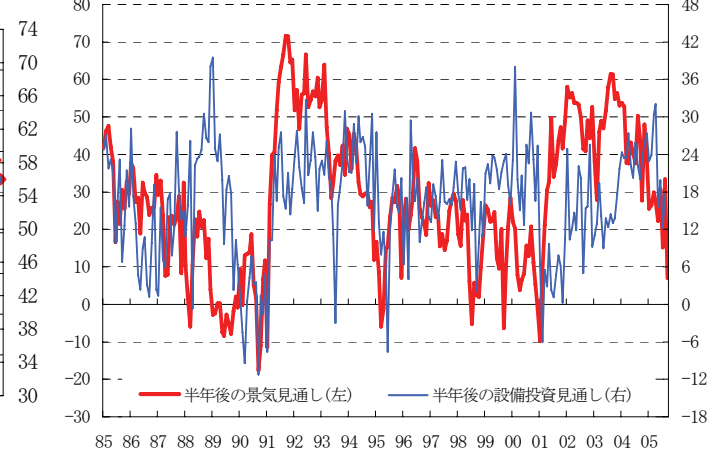
フィデ[®]インワイ[®]連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



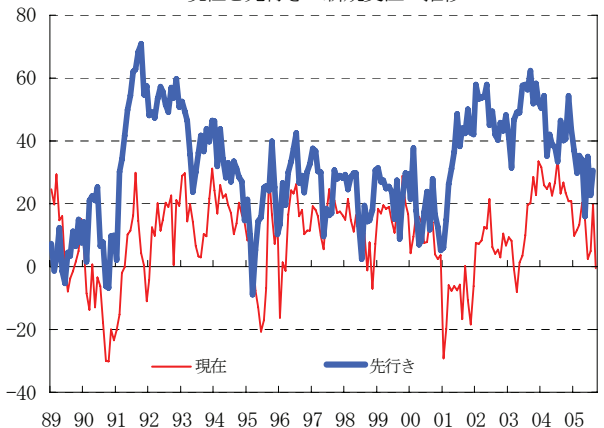
フィデ[®]インワイ[®]連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



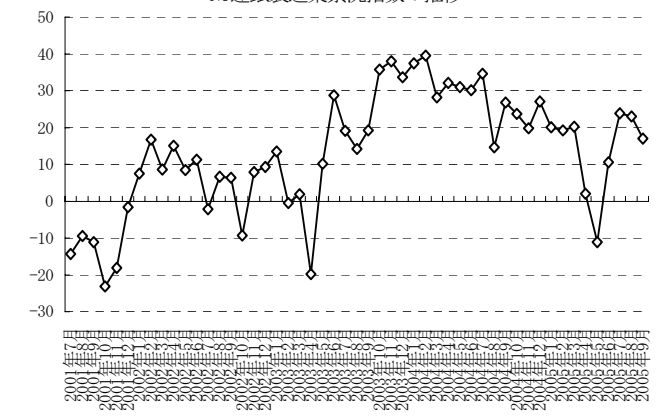
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。